

2007.11/7・11/14
連続セミナーコメディカル
アンケート調査 まとめ

多摩胃ろうネットワーク 事務局編集
2007年11月27日

調査計画の概要

1. 調査の概要

- 1) 目的 : 第四回 多摩胃ろうネットワークセミナー「胃ろう造設直後の患者様のケアに困っていませんか？」の呼びかけの下で連続セミナーの開催
 - ・第一回は「胃ろう造設と術後早期管理」
 - ・第二回は「胃ろう後期管理と交換・合併症対策」
- 2) 課題 : 胃ろう造設と早期管理について重点的に説明するために連続セミナーとし、それにより胃ろうに関する知識を深め、日頃の疑問に応えられるようにした。

以上に関して参加者の評価を確認し、今後のこの種の研修会などに役立てる一方で、「多摩胃ろうネットワーク」の今後の活動に資するためにアンケートを実施した。

2. 調査経過の概要

○ 実施概要

- 1) 対象 : 一回、二回共にコメディカル関係者を中心。 プラス地域包括ケア諸施設で働く訪問看護師、管理栄養師、保健師、さらに介護・ヘルパー、ケアマネージャー、ソーシャルワーカーなどなどである。
- 2) 地域 : 多摩南部エリアの八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市、プラスアルファ
- 3) 実施日時 : 第一回目 11月 7日 19:00～21:00
第二回目 11月14日 19:00～21:00
- 4) 場所 : 日本医科大学多摩永山病院
- 5) 実施主体 : 多摩胃ろうネットワーク
共催・・・多摩市医師会 日本医科大学永山病院
- 6) 調査内容 : アンケート用紙添付

○ 回収状況

第一回目 参加者総数82名 うちアンケート回答者51名(対象特性無回答で不明処理2票)

第二回目 参加者総数64名 うちアンケート回答者40名

3. 回答者のプロフィール

| | サンプル数 | 看護関係 (包括・訪問看護師、保健婦など) | 介護福祉関係 (ケアマネ、介護士、相談員など) |
|---------|-------|--------------------------|------------------------------|
| 第一回(前編) | 49 | 37 (看護師22、訪看5、保健婦3) | 12 (ケアマネ3、介護・福祉4、相談事務など5) |
| 第二回(後編) | 40 | 31 (看護師23、訪看8) | 9 (ケアマネ3、介護・福祉関係4、ほか2) |

連続セミナーの要約

～ 前編：胃ろう造設と術後早期管理

～ 後編：胃ろう後期管理と交換・合併症対策

1. 連続セミナー参加(者)の状況

1) セミナー参加者の認知経路

- ・「勤め先」が大半(前編セミナーでは49人中43人が勤め先)を占める。一週間おいた後編では40人中26人が「勤め先」であるが、その内訳まで確認したところ「勤め先・病院」が19人、「勤め先・老健施設」5人、「勤め先・診療所」2人となっている。
- ・いずれにしても参加者の認知経路は主催及び共催の性格上、病院の経路からの参加が多く、他の施設やそのほかの経路からの参加は今一步である。

2) セミナー参加理由

- ・セミナー参加理由は前編、後編共に「仕事柄必要な知識」が31人(前編)、19人(後編)で断トツである。次いで「仕事で直接係わり」が各々17人、19人であり、この二つが参加の二大理由である。
- ・特筆されるのは、参加(者)理由の中に“胃ろう造設が家族や母親で必要とされる”であろうが二人、“施設で胃ろう造設者を担当する”、“情報が欲しかった(ソーシャルワーカー)”など身近なところで差し迫って起こりつつある胃ろう造設と言えなくもないし、それがセミナー参加理由(の参加者)からも垣間見れたことである。胃ろう造設はヒトゴトでないと言うことなのかもしれない。
- ・なお、連続開催のセミナーとなっていたが、両方参加者(かつアンケートに回答)は17人である。

3) 仕事での関わり

- ・セミナー参加者は胃ろうとどんな係わり、関係にあるのかを確認したところ、「直接的な係わり」が約7割。大半が看護師と訪問看護師で占められるが、それ以外でも胃ろうと直接的なかわりも介護や医療事務、相談業務など多面的な接点が出て来ている(問3-1:仕事との直接、間接的な関わり方参照)。
- ・一週間後の開催となった“セミナー後編”参加者では「直接的な係わり」が“前編参加者”より割合としては多い。とりわけ訪問看護師(8人)は全員が胃ろうと直接的な係わりを持っているなど、胃ろう造設は日増しに切実な関心事となりつつあるようにも見受けられる。

2. 多摩胃ろうネットワークの知名及び認知状況

- * 「多摩胃ろうネットワーク」の経緯を設立に関与した小池代表からその沿革や今後の方向性などに関して講演いただいたが、セミナー参加者にその反応を確認した。
- ・「多摩胃ろうネットワーク」の知名率は「名前程度は知っている」を含めると、知っているが過半数を占めるものの、具体的な活動内容に関しては低調である。

N=49

| | | | |
|-------------------|----|---------------|-------|
| 多摩胃ろうネットワークの名称、活動 | …… | 知っている(名前程度含む) | 51.0% |
| 各病院施設との連携、情報の共有化 | …… | (既に)知っていた | 18.4 |
| 多摩胃ろうネットワークのHP | …… | 閲覧した(見たが内容は?) | 26.5 |
| 『多摩胃ろうネットワーク』の手引き | …… | (既に)手にしている | 16.3 |
| 多摩胃ろうネットワークの活動目的 | …… | 知っていた(何となく含め) | 42.8 |

- ・今後の興味関心では「在宅医療への支援」が一番多く18人(36.7%)、次いで「患者、施設、行政などとの連携」「地域連携パス」が各3割、以下、「胃ろう連携パス(28.6%)」、「相談窓口の拡充(26.5%)」が続く。
- ・職種別に見ると、看護関係の層では、「胃ろう連携パス(32.4%)」「相談窓口の拡充(29.4%)」「在宅医療の支援(29.4%)」「地域連携パス(26.5%)」の順であるが、介護福祉関係の層では「患者、施設、行政などとの連携(46.7%)」が半数近く、次いで「在宅医療の支援(40.0%)」と、当然のことながら興味関心の領域に差が見られる。

3. セミナー(宮脇先生の講義)に関する評価

1) 胃ろう造設と術後早期管理(前編)についての評価

- ・以下の5項目で“分かり易かったか”評価をしてもらったところ、「地域包括ケアが必要となる」の項目を除き、“よく分かった”が8～9割に達する。
- ・職種別に見ると、看護関係の層では「よく分かった」が全体傾向と変わらないものの、介護福祉関係の層では「地域包括ケアが必要となる」、「術後観察(バイタルサインから誤嚥の有無)」の2項目で“よく分かった”が5～4割に留まった。

| 講義内容の評価項目 | よく分かった (看護関係:介護福祉関係)の各サンプル | 何となく分かった |
|--------------------|-------------------------------|----------|
| 胃ろう(PEG)とは何か | 44(34:10) | 5(3:2) |
| 地域包括ケアが必要 | 36(30:6) | 13(7:6) |
| PEGが必要(適応)となる病態や対象 | 43(33:10) | 6(4:2) |
| 術後(口腔ケア～消毒など)早期管理 | 43(33:10) | 6(4:2) |
| 術後観察(バイタルサイン～誤嚥有無) | 40(32:5) | 8(5:3) |

(看護関係の層 n=37 介護福祉関係の層 n=12)

2) 術後の在宅ケアで気になるコト

- ・職場で気になっていることを参加者から聞いたところ、看護関係の層では次のようなコトが気になっている。
 - 「病院と在宅との関係で説明、指導不足」で齟齬がでていること
 - 「病院と主治医との情報連携不足」
 - 「家族が本当に管理できるのか」
 - 「日帰りで出血や感染のリスクが心配」
- ・介護福祉関係の層で気になること…。
 - 「知識として知っている知らないでは違う。家族にケアできる。緊急時家族をサポート。」
 - 「老老介護のもとでどこまで理解し、介護できるのか」
 - 「在宅で心理的な支援が必要」

3) セミナー後編、まず“前回の復習”評価

- ・連続セミナーであったこと、前回出席できなかった方のためにも「胃ろう造設と術後早期管理」を重ねて講義した。
- ・その感想を確認したところ、「術後早期管理」、「造設手技及びその種類」、「術前処理」に印象を持った人が多かった。
- ・職種別で見ると、看護関係の層では全体傾向と同じであるが、介護福祉関係の層では「胃ろう、PEGとは」、「術後早期管理」に印象を持つ人がやや多かった。

4) クリニカルパスの評価

- * セミナー前編の講義資料に「胃ろうのクリニカルパス」のシートが添付されていたが、セミナー参加者にその感想(話題にしたか、利用検討は)を二つの点で聞いた。
- ・まず、“話題になったか”であるが、全体の4人(今回サンプル40人、うち17人が前編も出席)が話題にした。これから検討予定が1人である。
- ・サンプルは少ないが利用あるいは応用に関しては、「現在使っているパスと比較検討」、「胃ろう造設の方にこれを基にケア」、「在宅での参考」当院で使っているなど一つの基準として役立たせているようである。

5) 後編の評価 ~ 胃ろう後期管理と交換、合併症対策 ~

- ・10項目に亘り評価確認したが、上述した「前回のおさらい(復習)」を除き9項目に関しては、総ての項目で「よく分った(+分った)」の評価である。
- ・強いて言えば「嚥下障害患者の動向」の項目で「何となく分った」と「どちらとも言えない」がやや多くなり、この傾向は看護関係、介護福祉関係の各層で共通している。

6) 講義内容に関して参加者の日頃の関わりの有無

- ・約半数の人が現場で胃ろうと関わり何らかのエンカウントしている。多くは“スキントラブル(5件)”、“栄養剤のもれ、皮膚びらん(5件)”、“自己抜去、自然抜去(4件)”などなどである。

4. コメディカルからさらに外に向けて一步

* この度の連続セミナーでは、対象をコメディカル+アルファの方々にも参加頂くなど、新たな試みもあった。前編、後編の都合二回にわたる参加者双方から多大な評価を得た。加えて両者の相互関係に関して次のような確認をした。

1) 立場を超えて相互理解を深める

- ・全体では「必要だと思う」が9割近くである。
職種別に見ると、看護関係の層でより“必要だと思う”が介護福祉関係の層を1割程度上回る。

2) 相互連携

- ・全体では「やりたい」が3割近いが、「やりたいが時間がない」も4割近く、両者をあわせると“やりたい”が7割弱に達する。職種別に見ると、ここでは看護関係の層より介護福祉関係の層での“やりたい”が上回る。

3) 成果発表

- ・全体では相互に成果を発表に「賛成」が約6割である。職種別で見ると看護関係の層がこの件では積極的なようである。

看護関係と介護福祉関係との連携状況

(%)

| | 1 必要だと思う | 2 必要だが時期早尚 | 3 分からない |
|----------------------------|----------|--------------|----------|
| 6 - 1 立場を超えて相互理解を深める…………… | | | |
| 全 体 | 43(37.8) | 1(2.0) | 5(10.2) |
| 看 護 関 係 | 31(91.2) | 1(2.9) | 2(5.9) |
| 介 護 福 祉 関 係 | 12(80.0) | - | 3(20.0) |
| 6 - 2 相互連携、事例研究など紹介、収集、交換… | 1 やりたい | 2 やりたいが時間がない | 3 分からない |
| 全 体 | 14(28.5) | 19(38.8) | 16(32.7) |
| 看 護 関 係 | 8(23.5) | 15(44.1) | 11(32.4) |
| 介 護 福 祉 関 係 | 6(40.0) | 4(26.7) | 5(33.1) |
| 6 - 3 相互連携や事例の成果発表…………… | 1 賛成 | 2 反対(難しい) | 3 分からない |
| 全 体 | 29(29.2) | - | 20(40.8) |
| 看 護 関 係 | 22(64.7) | - | 12(35.3) |
| 介 護 福 祉 関 係 | 7(46.7) | - | 8(53.3) |

4) 地域包括ケア(医療と介護あるいは福祉のシームレス化)

・全体では「よいと思う」が8割近い。
職種別では看護関係の層でよいと思うが8割強であるが、介護福祉関係の層では7割弱となっている。

・広域かつ多岐に亘る活動に関しては、全体として「参加したい」がほぼ半数である。また、分らないとする人も4割近い。職種別に見ても看護関係、介護福祉関係共に同様の傾向である。

問7: 地域包括ケア(医療・看護と介護・福祉のシームレス化) (%)

| 7-1 どう思うか | 1 良いと思う | 2 良いと思うが難しい | 3 分からない | |
|--------------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 全体 | 38 (77.6) | 6 (12.2) | 5 (10.2) | |
| 看護関係 | 28 (82.4) | 4 (11.8) | 2 (5.9) | |
| 介護福祉関係 | 10 (66.7) | 2 (13.3) | 3 (20.0) | |
| 7-2 広域・多岐に亘る | 1 参加したい | 2 しばらく考えたい | 3 参加しない | 4 分からない |
| 全体 | 24 (49.0) | 5 (10.2) | 2 (4.1) | 18 (36.7) |
| 看護関係 | 17 (50.0) | 4 (11.8) | 2 (5.9) | 11 (32.4) |
| 介護福祉関係 | 7 (46.7) | 1 (6.7) | - | 7 (46.7) |

5) 講義の分かり易さ

・ビジュアルな面(映像を多く取り入れた、実技含め)と言葉(医学用語)の二つに関しては、前者は分かり易いが83%、後者が75%で、理解に関しては大きな問題はなかったようである。職種別では言葉(医学用語)の理解で介護福祉関係の層で「分からないこともある」が過半数を超えた。

5. 『多摩胃ろうネットワーク』の手引き

- ・多摩胃ろうネットワークのこの二年間の活動の集大成の一つであるが、対象は患者・家族向けに制作したものである。まだ多くの方々に配布出来ている訳ではなく、セミナー前編参加者に資料として同封、一週間後のセミナー(後編)でどんな反応が来たのかを見た。
- ・説明も解説もないものであるが、その評価を次表に示した。既に、質疑応答(問答)集など貴重なご意見を頂いており、今後は使い込むことでより内容の充実が図っていけると思われる。

問7: 『多摩胃ろうネットワーク(初版)』手引きの内容評価

| | | | |
|----------------------|---|---------------------|-----------------------|
| 見ていただけたか | 1 見た 25(21:4) | 2 (まだ)見ていない 12(9:3) | |
| 胃ろう患者、家族の手引き | 1 使って頂けそうですか 22(18:4) | 2 難しいところがある 2(1:1) | |
| 多摩胃ろうネットワーク図(機能分担) | 1 分かり易い 13(10:3) | 2 安心できる 11(7:4) | 3 使ってみないと分からない 7(6:1) |
| 摂食・嚥下障害の紹介 | 1 分かり易い 11(10:3) | 2 (今後)安心だ 12(8:4) | 3 もっと知りたい 7(6:1) |
| 栄養剤の種類(多摩胃ろうネットワーク選) | 1 参考になる 20(17:3) | 2 用途評価が良い 4(2:2) | 3 分からない 16(12:4) |
| 手引きに関して今後の要望(FA) | ・質問、疑問をのせて、それに対する回答ものせて欲しい ・医療関係者、特にPEGの管理を含めて知識が少ない場合や看護職以外は役に立つと思うが、素人の家族には一部難しいかもしれない | | |

* 各選択肢の末尾にある数値はサンプル件数、()ない数値は前が看護関係の層、後数値は介護福祉関係の層のそれぞれサンプル件数である。

* なお、全体サンプルは40件であるが、前回出席者が始めて手にした“手引き”であり、今回のみ(後編のみ出席者)も講義中に手にして開いているなどしており、ここでは回答者中心に見たものである(無回答あるいは非該当などの調整はしていない)。

6. 胃ろうセミナーに際して関連医療機器及び栄養剤の展示

- ・セミナー前編(N=49)と後編(N=40)の参加者に関してカテーテルと栄養剤の展示及び解説や質疑応答を各メーカーにお願いしたが、参加者の評価は次の通りである。
- ・参加者の過半数は“見たり、手に取ったり、試飲したり、話を聞いたり”していただいたが、その評価に関しては消極的というか、低調であった。

関連医療機器及び栄養剤の展示

(N=89)

| | | | | |
|----------------|--------------------|------------------|--------------------------|------------------|
| 胃ろうカテーテルの確認…… | 1 見た 37(41.6) | 2 手に取った 7(7.9) | 3 話を聞いた 7(7.9) | 4 見なかった 38(42.7) |
| 栄養剤の展示(及び試飲)…… | 1 見た 31(34.8) | 2 試飲した 7(7.9) | 3 話を聞いた 7(7.9) | 4 見なかった 45(50.6) |
| 機器、栄養剤の説明…… | 1 分かり易かった 12(13.5) | 2 分かり難かった 6(6.7) | 3 どちらともいえない(不明) 69(77.5) | |

7. セミナーに寄せられた意見、感想、要望

- ・以下に、具体的にどんなコトが寄せられたか、前編、後編各セミナーの結果は次の通りである。

問9: 本日のセミナーに関して意見、要望及び次回セミナーへの要望(前編)

< 看護関係 >

- ・丁寧な説明、話のスピードも早すぎず、大変理解しやすかった。(看護師 1年)
- ・とても分かり易いセミナーでした。基本的なことが分かり易かった。(看護師 5年)
- ・知らなかったことが多く学べてとてもためになった。(看護師 20代)
- ・次回参加できないことが残念です。資料だけでも頂きたいです。(看護師 3年)
- ・仕事にすぐ生かせる内容で勉強になりました。参加してよかったです。(看護師 3年)
- ・「栄養剤の選択の仕方について」も希望します。PEGや摂食・嚥下についての実際が学べてとても良かったです。また、参加を考えています。よろしくお願ひいたします。こうした勉強の機会を引き続き設けて頂きたい。(看護師 14年)
- ・バンパー症候群になった場合の処置、管理の方法を知りたい。(看護師 6年)
- ・今後、胃ろうだけでなく様々なものへの地域包括ケアに拡大して欲しい。(訪問看護師 10年)

< 介護福祉関係 >

- ・造設患者が50万人の右上がりですが、そんなに造設しないといけなのか。他の方法はないのでしょうか。女性に多いのは何故。造設にかかる費用はどの位かかるのでしょうか。(ケアマネジャー 0.8ヶ月、居宅介護支援事業所)
- ・胃ろう造設者のターミナルケア(看取り)はありうるのか。栄養の落とす速度について、逆流との関連は。(介護職 50代)
- ・殆ど知識がなかったので大変勉強になりました。(社会福祉士 4年)
- ・管理している立場なので次回を期待します。(介護士 2.5年)
- ・もっと福祉職(介護職、SW、CM)にきてもらいたい。(事務職 20代)

問9: 本日のセミナーに関してご意見・感想を！また、次回セミナーへの要望(後編)

- ・映像を取り入れたので分かり易かった。(看護師 20代)
- ・とても分かり易かったPT、Faへの指導に生かせると思います。(看護師 年齢不明)
- ・毎日の観察が如何に大切か分かりました。(看護師 30代)
- ・大変分かり易く参考になりました。(看護師 20代)
- ・具体的な費用の説明もあり、良かった。(訪問看護師 30代)
- ・高齢者の増加に伴い在宅での胃ろう管理が増えることから大変良い勉強になりました。有難う御座いました。(地域包括センター 年齢不明)
- ・大変参考になりました。(栄養士 20代)

第一回 胃ろう造設と術後早期管理(各論)

1 セミナー参加(者)の状況

1) セミナー開催の認知経路

- ・セミナーの認知経路は「勤め先」が43件と大半を占めた。それ以外では「医師会(HP)」、「メール(配信)」、「その他(PDNホームページ)」が各1件となっている。

問1: このセミナーは次のどのようなことから知りましたか

| | サンプル数 | 1 医師会 | 2 勤め先 各種施設、 病院 | 3 メール 配信 | 4 PDN 通信 | 5 メーカー など | 6 その他 |
|----|-------|----------|-------------------------|----------------|----------------|-----------------|----------|
| 全体 | 49 | 1 | 43 | 1 | 1 | - | - |

2) セミナー参加理由

- ・参加理由は、「仕事柄必要な知識」が31件、次いで「仕事で直接係り」17件、以下「上司に言われ」6件、「業務で」4件などとなっている。
 - ・なお、「その他」4件の参加理由を見ると、セミナー出席の“身内(2件)”であったり、“介護・施設関連(2件)”で胃ろう造設が身近なところで起きており、直近で知識や情報を必要とされている状況も見られる。
- * 偶然にしても参加者49人中、身内で2件、介護関連施設1件、その知識を欲しい社会保険士のセミナー参加などは、胃ろう造設に関する関心と言うよりも、日々、情報や知識の必要性が高まりつつあるようにも見られる。

問2: 参加することにしたのは次のどういったことからですか (複数回答)

| | サンプル数 | 1 業務で | 2 上司に 言われ | 3 先輩 同僚から | 4 仕事で 直接係り | 5 仕事柄 必要な 知識 | 6 話題に なっている | 7 その他 |
|----|-------|----------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------------|-------------------|----------|
| 全体 | 49 | 4 | 6 | 3 | 17 | 31 | 1 | 4 |

その他(参加理由)

- ・家族にも胃ろうの話が出たので興味があった(CM)
- ・母が胃ろう造設のため(看護師)
- ・(自分が)担当する“利用者”が胃ろうの可能性があるので(CM)
- ・情報が欲しかった(SW)

3) 仕事との関わりの有無

- ・自分の仕事との係りでは、「直接的な係り」が35件、「今後を考え」9件、「間接的な係り」5件の順である。
- ・職種別で見ると、「直接的な係り」は看護師に多いが、訪問看護師に於いても胃ろうと直接的な係りが見られる。また、介護職あるいは事務職など胃ろうに関して様々な立場、職種の 関わり方が出て来ているようである。

問3: 今回のセミナーはあなたの仕事(職種)とどの程度の係りがありますか

| | | 1 直接的な係り | 2 間接的な係り | 3 今後を考え(今はない) |
|---------|----|----------|----------|---------------|
| 全 体 | 49 | 34 | 6 | 9 |
| 看護師 | 29 | 29 | 1 | |
| 訪問看護師 | 3 | 2 | | 1 |
| 包括看護師 | 2 | | | 2 |
| 介護関係者 | 4 | 2 | 1 | 1 |
| ケアマネジャー | 3 | | 1 | 2 |
| 事務関係 | 5 | 1 | 1 | 3 |
| その他 | 3 | 1 | 2 | |

* その他の内訳は保健師1、管理栄養士2

問3 - 1: 仕事との直接、間接的な係り方(具体的な内容)

| | |
|--|------------------|
| ・院内で胃ろう造設される患者がいるため造設前後のケア | ・・・院内 |
| ・栄養剤の注入、造設前後の管理、交換など全般 | |
| ・PEG前後のケア全体、直接胃ろう患者の介護、看護にあっている | |
| ・胃ろう造設している人に係っている | |
| ・胃ろう造設前後の管理、在宅に向けての指導 | |
| ・PEG、PEJを造設し、有料老人ホームに入所されている方に主治医と一緒に訪問診療している(クリニック) | |
| ・訪問看護師としてケアを指導することがある | ・・・訪問看護師 |
| ・在宅で胃ろう造設の相談あり | ・・・地域包括支援センター看護師 |
| ・家族やCM、ヘルパーからの相談あり | |
| ・異常の早期発見(ができるように) | ・・・介護(ヘルパー、SW) |
| ・胃ろう造設(利用者)の居室担当 | |
| ・胃ろうネットワーク事務 | ・・・医療事務、事務相談 |
| ・入所やショートステイ利用者の相談業務 | |

4) 仕事での関り(具体的な内容)

- ・看護職では院内での術前術後の係り、ケアやPEG交換、退院後の在宅指導などの一方で、訪問ケアする形もある。また、包括センターでの看護師は相談に比重がかかる、それも家族だけでなくケアマネジャーやヘルパーへの。
- ・このほか、介護福祉関係では“異常の早期発見”、“胃ろう造設者の担当”故にであったり、“胃ろう関連の(医療)事務”や“相談業務担当”故になど、参加者の関わりも多岐に亘ってきている。

2 多摩胃ろうネットワークについて

1) 知名及び認知状況

- ・ から の項目に関して知名及び認知状況を確認したが、名前や活動目的は半数前後が知っているものの、 、 の項目内容に関しては7～8割強が“知らない”ようである。
- ・ 回答者全体の7割を占める看護関係の層で見ても、“多摩胃ろうネットワーク”に関する理解も総じて全体傾向と同様の傾向である。但し、項目 の「ホームページ」に関しては看護関係の方が全体を下回っている。

問4: 次の から の項目についてそれぞれお知らせください。 全体 = 49 (うち看護関係 = 34) (%)

| | | | |
|------------------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|
| 多摩胃ろうネットワークの名称、活動は・・・ | 1 知っていた 34.7 (32.4) 17 (11) | 2 名前程度知っていた 16.3 (17.6) 8 (6) | 3 知らなかった 49.0 (50.0) 24 (17) |
| 各病院施設との連携、情報の共有化・・・ | 1 既に知っていた 18.4 (26.5) 9 (6) | 2 知らなかった 81.6 (82.4) 40 (28) | 3 利用した |
| 多摩胃ろうネットワークのHP…………… | 1 閲覧した 8.2 (5.9) 4 (2) | 2 見た(が内容?) 18.3 (11.8) 9 (4) | 3 知らない 73.5 (82.4) 36 (28) |
| 『多摩胃ろうネットワークの手引き』…………… | 1 (既に)手にしている 18.3 (14.7) 8 (5) | 2 (本日)初めて手にした 83.7 (85.3) 41 (29) | |
| 多摩胃ろうネットワークの活動目的…………… | 1 知っていた 16.3 (11.7) 8 (4) | 2 何となく知っていた 26.5 (23.5) 13 (8) | 3 知らなかった 57.1 (64.7) 28 (22) |

2) 今後の興味関心

- ・ 全体では、「在宅医療の支援」が36.7%で最も多く、次いで「地域連携パス」、「患者、施設、行政などとの連携」が各3割、以下、「胃ろう連携パス」、「相談窓口拡充」が続く。
- ・ これが看護関係の層では「胃ろう連携パス」と「相談窓口」が全体傾向を上回り、逆に、介護福祉関係の層では「患者、施設、行政などの施設」、「在宅医療の支援」の割合が上回る。

問4 - 1 多摩胃ろうネットワークの今後に関して興味関心を持ったことはどれでしょうか。

| | サンプル数 | 1 相談窓口拡充 | 2 胃ろう連携パス | 3 地域連携パス | 4 エリアの拡大 | 5 患者、施設、行政などとの連携 | 6 在宅医療の支援 | 7 その他 (%) |
|------|-------|----------|-----------|----------|----------|------------------|-----------|-----------|
| 全体 | 49 | 26.5 | 28.6 | 30.6 | 4.1 | 30.6 | 36.7 | 6.1 |
| 看護師 | 34 | 29.4 | 32.4 | 26.5 | 2.9 | 17.6 | 29.4 | 8.8 |
| 介護ほか | 15 | 20.0 | 13.3 | 20.0 | 6.7 | 46.7 | 40.0 | |

3 胃ろう造設と術後早期管理について

- ・宮脇先生による標記に関する講義に関して ～ の項目で評価してもらったところ、「胃ろうとは何か」、「PEGが必要(適応)となる病態や対象」、「術後(口腔ケア～消毒など)早期管理」、「術後観察」それぞれで「よく分かった」が8割以上となっている。
- ・看護関係においては の項目を除き、ほぼ全員が「よく分かった」となっている。一方、介護、CMあるいは事務職などの介護福祉関係の層でも と の項目を除き、「よく分かった」が7割弱占めている。
- ・ の「地域包括ケアが必要になる」は立場立場の違いを超えた考え方あるいは仕組みの構築であり、イメージメイキングしにくかったと思われ、「何となく分かった」に留まる人も他の項目に比べ多い。
- ・ の「術後観察(バイタルサイン～誤嚥有無)」も範囲が広いだけに、「よく分かった」の割合は他の項目より低く、その分若干ではあるが「何となく分かった」に流れている。

(N = 49)

| | 1 よく分かった | 2 何となく分かった | 3 どちらともいえない |
|---------------------|---------------|-------------|-------------|
| 胃ろう(PEG)とは何か | 44 (34、10) | 5 (3、2) | |
| 地域包括ケアが必要となる | 36 (30、6) | 13 (7、6) | |
| PEGが必要(適応)となる病態や対象は | 43 (33、10) | 6 (4、2) | |
| 術後(口腔ケア～消毒など)早期管理は | 43 (33、10) | 6 (4、2) | |
| 術後観察(バイタルサイン～誤嚥の有無) | 40 (32、5) | 8 (5、3) | 1 (-、1) |

()内前数値は看護関係の層(n=37)、後数値は介護、CM、事務職含めた介護福祉関係の層(n=12)

1) 胃ろう造設と術後早期管理で気になること

- ・今の立場で気になることをオープンアンサーで聞いたところ、看護関係の層では次の5項目で危惧をもっているようである。
- ・“在宅療養”故の説明不足や連携不足。 加えて患者、家族が経験に裏打ちされない知識不足による不安感などが気になるようである。
 - ・病院と在宅での栄養剤が変わることで排便に問題など(家族への十分な指導不足)
 - ・胃ろうは在宅での考えが患者、家族に伝わらない(医者の説明不足)
 - ・胃ろう交換を依頼した病院からPEGの種類、サイズや交換後の指示がない(在宅主治医との連携不足)
 - ・家族が本当に管理できるか、異常の早期発見が出来るか心配(基本的な経験則や知識獲得)
 - ・出血や感染のリスクが心配(日帰りへの危惧)
- ・他方、介護、CM、医療事務や相談業務の事務方など含めた介護福祉関係の層は“医療行為として出来ない”中で、プラス意見として「知識として知っている」と知らないとは違う、「家族にケア出来る」としている。 また緊急時のとき家族を指導できるなど積極的に受け止める人もいる。
- ・がまた一方で、現場の「ヘルパーが出来ることはどんなことか」疑問を呈することに留まっていたり、対象先の状況「(老老介護)」の下で、どこまで理解し介護できるか。 さらに、「在宅で生活される方や家族への心理的な支援」が気になるなど新たな課題も浮上してきている。

問5 - 1 胃ろう造設と術後早期管理で気になること

< 看護関係 >

- ・家族が十分な指導を受けずに退院することが多い。 病院で使っていた栄養剤と在宅で変わることが多く排便コントロールに困る。(ことになっている)
- ・ドクターが正しい説明(インフォームドコンセント)をしないため、患者・家族が胃ろう造設を否定することがある。 そのため“在宅で”という考え方が患者、家族も出来ないでいる。
- ・当院では胃ろうの交換が出来ないため、交換して頂ける病院に紹介状にて依頼していますが、挿入したPEGの種類、サイズ、交換後の指示などのお返事が無く、引き続き診ていく立場としては不安に思うことがあります。(在宅での主治医との連携をお願いします。)
- ・ご家族が本当に管理できているのか、異常の早期発見が出来ているか心配。
- ・以前、2件、日帰りでPEGを入れる現場に立ち会いました。 出血、感染等のリスクがあるのが心配です。

< 介護、CM、医療事務、相談業務など介護福祉関係 >

- ・ヘルパーステーションで現場のヘルパーが出来ることはどのようなことか。(社会福祉法人、事務方 3年)
- ・医療行為として出来ないが知識として知っているのと知らないのとでは違うので、また、家族に胃ろう造設した場合、ケア出来るのでとても参考になった。(ケアマネジャー 8ヶ月)
- ・医療行為なので今の立場では関れない。(ケアマネジャー 4年)
- ・老老介護が増え、介護者がどこまで理解できるか。(介護支援専門員 3年)
- ・受け入れ先の病院(療養型)施設の状況や受け入れて頂けるかどうか、在宅で生活される方や家族への心理的な支援(が必要、大切、心配!?) (社会福祉士 4年)
- ・緊急のとき家族を指導。(事務職)

4 相互理解などの必要性について

* 参加者は胃ろう造設と直接接点をもつ看護だけでなく、介護、福祉関係者も多数参加した。 今後は医療と介護乃至福祉のシームレスが望まれていることなどに関して評価してもらった。

1) 立場を超えた相互理解に関して

- ・看護及び介護関係者双方は相互理解を深めることに関して、全体では「必要だと思う」が87%と大半を占める。
- ・職種別に見ると、看護関係の層では「必要だと思う」が9割を超えるが、介護福祉関係の層では8割に留まる。
- * なお、介護関係者とは、「介護職(ヘルパー、社会福祉士)」、「ケアマネージャー」、事務系として「医療事務職」、「相談業務」担当者となっている。

2) 相互連携(事例研究や紹介、収集、情報交換など)に関して

- ・相互連携を現場で出来るのか否か！その意向を探ったところ、全体では「やりたい」が28%、「やりたいが時間がない」が39%であり、意向としては6割強の人が“やりたい”となっている。
- ・職種別に見ると、看護関係の層では時間がないを含めたやりたいをあわせると7割近い。一方で介護福祉関係の層でも“やりたい+時間がないがやりたい”が同程度であるものの、とりわけ「やりたい(40%)」の意向が強い。

3) 成果発表については

- ・全体で「賛成」は約6割に留まる。職種別では看護関係の層では「賛成」が6割強、介護福祉関係者の層では「賛成」が半数を切っている。

(%)

| | | | |
|----------------------------|----------|------------------|----------|
| 6 - 1 立場を超えて相互理解を深める…………… | 1 必要だと思う | 2 必要だが時期早尚 | 3 分からない |
| 全体 | 43(87.8) | 1(2.0) | 5(10.2) |
| 看護職 | 31(91.2) | 1(2.9) | 2(5.9) |
| 介護関係者 | 12(80.0) | | 3(20.0) |
| 6 - 2 相互連携、事例研究など紹介、収集、交換… | 1 やりたい | 2 やりたいが 時間がない | 3 分からない |
| 全体 | 14(28.6) | 19(38.8) | 16(32.7) |
| 看護職 | 8(23.5) | 15(44.1) | 11(32.4) |
| 介護関係者 | 6(40.0) | 4(26.7) | 5(33.3) |
| 6 - 3 相互連携や事例の成果発表…………… | 1 賛成 | 2 反対(難しい) | 3 分からない |
| 全体 | 29(59.2) | | 20(40.8) |
| 看護職 | 22(64.7) | | 12(35.3) |
| 介護関係者 | 7(46.7) | | 8(53.3) |

5 地域包括ケア(シームレス化)に関して

1) どう思うか

- ・全体では「良いと思う」が約8割近いが、「良いと思うが難しい」とする人も1割強である。また、「分からない」も1割見られる。
- ・職種別に見ると、看護関係の層では「良いと思う」が8割強で全体を上回る一方で、介護福祉関係の層では67%と、全体を1割下回る。その分「分からない」の割合が増える。

2) 地域包括ケアへの拡大

- ・今後、広域かつ多岐に亘る活動に関して、全体では「参加したい」が49%、ほぼ半数である。「分からない」とする人が37%と4割近く、「しばらく考えたい」も1割となっている。
- ・職種別に見ても看護関係、介護福祉関係の各層ともに、全体傾向とあまり差がない結果となっている。

問7:地域包括ケア(医療・看護と介護・福祉のシームレス化) (%)

| 7-1 どう思うか | 1 良いと思う | 2 良いと思うが難しい | 3 分からない | |
|--------------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 全 体 | 38 (77.6) | 6 (12.2) | 5 (10.2) | |
| 看 護 職 | 28 (82.4) | 4 (11.8) | 2 (5.9) | |
| 介 護 関 連 | 10 (66.7) | 2 (13.3) | 3 (20.0) | |
| 7-2 広域、多岐に亘る | 1 参加したい | 2 しばらく考えたい | 3 参加しない | 4 分からない |
| 全 体 | 24 (49.0) | 5 (10.2) | 2 (4.1) | 18 (36.7) |
| 看 護 職 | 17 (50.0) | 4 (11.8) | 2 (5.9) | 11 (32.4) |
| 介 護 関 連 | 7 (46.7) | 1 (6.7) | | 7 (46.7) |

6 胃ろうに伴う医療機器、栄養剤の展示について

- ・カテーテルの確認に関しては、過半数(27人)の人が見た、手に取った、話を聞いたのいずれであったが、このうち介護福祉関係の人は6人(4割)に留まっている。
- ・栄養剤に関しては展示が会場の外であっただけに“見た、試飲した、話を聞いた”は17人に留まったが、セミナー終了後、多くの方々がメーカーの方と話をし、パンフレットの収集など含め接触してもいた。
- ・メーカーサイドの説明に関しては分かり易いとする人は僅かであり、どちらとも言えないが非常に多かった。

問8:胃ろうに伴う医療機器、栄養剤の展示

| | | | | |
|-----------------|------------|---------|-----------------|---------|
| 8-1 胃ろうカテーテルの確認 | 1 見た | 2 手に取った | 3 話を聞いた | 4 見なかった |
| | 19 | 4 | 4 | 22 |
| 8-2 栄養剤の展示(試飲) | 1 見た | 2 試飲 | 3 話を聞いた | 4 見なかった |
| | 9 | 4 | 4 | 32 |
| 8-3 機器、栄養剤の説明 | 1 分かりや易かった | 2 分かり難い | 3 どちらともいえない(不明) | |
| | 3 | 5 | 40 | |

- ↓
- ・高値ですね！保険が利くと良いと思います。
 - ・形態についての説明が多かったが、成分などの説明が欲しかった。(たとえば心不全の患者や透析の患者に良いなど)

7 本日のセミナーに関して意見、要望及び次回セミナーへの要望

- ・看護関係サイドの感想あるいは要望に関しては、今回もセミナーの評価は良い中で、次回セミナーへの要望が2件あげられた。
- ・同時に、“こうした勉強の機会を引き続き設けて頂きたい”の要望ともなっている。
- ・さらに、訪問看護サイドからの要望として、“胃ろうだけでなく様々なこと、地域包括ケアに拡大して欲しい”の要望もあげられた。
- ・介護福祉関係サイドでは、様々な質疑があげられている一方で、もっと多くの関係者が参加した方がよいとの意見も寄せられている。

問9:本日のセミナーに関して意見、要望及び次回セミナーへの要望

< 看護関係 >

- ・丁寧な説明、話のスピードも早すぎず、大変理解しやすかった。(看護師 1年)
- ・とても分かり易いセミナーでした。 基本的なことが分かり易かった。(看護師 5年)
- ・知らなかったことが多く学べてとてもためになった。(看護師 20代)
- ・次回参加できないことが残念です。 資料だけでも頂きたいです。(看護師 3年)
- ・仕事にすぐ生かせる内容で勉強になりました。 参加してよかったです。(看護師 3年)
- ・「栄養剤の選択の仕方について」も希望します。 PEGや摂食・嚥下についての実際が学べてとても良かったです。 また、参加を考えています。 よろしく願いいたします。 こうした勉強の機会を引き続き設けて頂きたい。(看護師 14年)
- ・バンパー症候群になった場合の処置、管理の方法を知りたい。(看護師 6年)
- ・今後、胃ろうだけでなく様々なものへの地域包括ケアに拡大して欲しい。(訪問看護師 10年)

< 介護職、ケアマネジャー、相談業務など事務方含む介護福祉関係 >

- ・造設患者が50万人の右上がりですが、そんなに造設しないといけないのか。 他の方法はないのでしょうか。 女性に多いのは何故。 造設にかかる費用はどの位かかるのでしょうか。(ケアマネジャー 0.8ヶ月 居宅介護支援事業所)
 - ・胃ろう造設者のターミナルケア(看取り)はありうるのか。 栄養の落とす速度について、逆流との関連は。(介護職 50代)
 - ・殆ど知識がなかったので大変勉強になりました。(社会福祉士 4年)
 - ・管理している立場なので次回は期待します。(介護士 2.5年)
 - ・もっと福祉職(介護職、SW,CM)にきてもらいたい。(事務職 20代)
-

第2回 胃ろう後期管理と交換・合併症対策(各論)

1 セミナー参加者の状況

1) セミナー開催の認知経路

- ・セミナー開催の認知経路は「前回出席」が17人。 そのほか開催の認知経路は勤め先(病院)が19人で一番多く、次いで勤め先でも老人福祉健康センターが続いている。

問1: このセミナー開催は次のどのようなことから知りましたか (複数回答)

| | サンプル数 | 1 前回出席 | 2 医師会HP | 3 勤め先病院 | 4 勤め先老健 | 5 勤め先診療所 | 6 メル配信 | 7 PDN通信HP | 8 その他 |
|-----|-------|--------|---------|---------|---------|----------|--------|-----------|-------|
| 全 体 | 40 | (17) | | 19 | 5 | 2 | 1 | 2 | |

2) セミナー参加理由

- ・参加理由は、「前回に続くから」が17人。 そのほかでは「仕事での必要な知識」や「仕事での関わり」が参加の大きな理由となっている。

問2: 参加することにしたのは次のどういったことからですか (複数回答)

| | サンプル数 | 1 前回に続くから | 2 業務で | 3 上司に言われ | 4 先輩 向僚から | 5 仕事で直接係り | 6 仕事柄必要な知識 | 7 その他 |
|-----|-------|-----------|-------|----------|-----------|-----------|------------|-------|
| 全 体 | 40 | 17 | | 2 | 2 | 19 | 27 | |

3) 仕事(職種)との関わり方

- ・セミナーに参加した方々は、胃ろうあるいは摂食・嚥下障害とどのようなかかわりがあるか確認したところ「直接的な係わり」がある方々が8割近くを占めている。 また、訪問看護師は全員(8人)が直接的なかかわりを持っている方々であった。
- ・ケアマネージャー・介護福祉、ソーシャルワーカーなどの参加者は当然のことながら「間接的なかかわり」が多く、また「今後のため」ともなっている一方で、看護資格を持つケアマネなどでは直接的なかかわりをもつ。

| | | 1 直接的な係り | 2 間接的な係り | 3 今後のため(今はない) |
|--------|----|----------|----------|---------------|
| 全 体 | 40 | 31 | 7 | 2 |
| 看 護 師 | 23 | 21 | 2 | |
| 訪 看 ほか | 8 | 8 | | |
| ケアマネほか | 9 | 2* | 5 | 2 |

* ケアマネージャー(+看護師資格)はケアマネに分類

2 前回セミナーの評価

1) 第一回目(前回:胃ろう造設と術後早期管理)の復習に関して

- ・各項目ごとの印象(評価)を確認したところ、PEGのマーケットサイズの項目を除き、全体的には各項目ごとに一定の評価・印象が得られている。
- ・これを看護関係(コメディカル)の層では「造設手技及びその種類」、「術前処置」、「術後早期管理」に多くの人々が印象を残している。その一方でケアマネ、介護福祉関係の層では「胃ろう、PEGとは」、「術後早期管理」の項目に印象が残った人が多かった。

問4 - 1 前回の復習に関して印象に残った項目は (複数回答)

| | サンプル数 | 1 胃ろう、PEGとは | 2 PEGのマーケットサイズ | 3 PEGの適応病態、対象 | 4 造設手技及びその種類 | 5 術前処置 | 6 術後早期管理 | 7 その他 | 8 不明非該当 |
|--------------|-------|-------------|----------------|---------------|--------------|--------|----------|-------|---------|
| 全 体 | 40 | 7 | 3 | 6 | 10 | 9 | 11 | | 12 |
| コメディカル(含む訪看) | 31 | 3 | 1 | 3 | 7 | 8 | 7 | | 11 |
| ケアマネほか | 9 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | 4 | | 1 |

2) クリニカルパスのペーパーシート(前半講演資料)に関して

話題になったのか

- ・「話題になった」は1割にも達しなかった。「クリニカルパス」そのものが病院の仕組みに関連することであるだけに、胃ろうのクリニカルパスに関しては余り関心が払われなかったようである。
- ・胃ろうの術前、術後の全体が構造的に見えるだけに、今ひとつ注意喚起が必要だったのかとも思われるほどに、コメディカルの方々に関心が薄かった。

| | サンプル数 | 1 話題になった | 2 話題にしなかった | 3 その他 | 4 不明 |
|--------|-------|----------|------------|-------|------|
| 全 体 | 40 | 3 | 17 | 2 | 18 |
| 看護関係 | 31 | 2 | 11 | 2 | 16 |
| 介護福祉関係 | 9 | 1 | 6 | | 2 |

これから検討予定1件

利用あるいは応用に関して

- ・利用、応用に関してはこれから検討を含めると5件である。実際に応用する人は少ないが、以下にあるとおりクリニカルパスそのもの(連携のため)だけでなく、全体が見えるだけに“スキルとして応用”していくことが可能なようである。

- ・現在使用のパスと比較して改善に役立たせたい
- ・胃ろう造設の方が出てきた場合、照会先(造設)病院からの指示がない場合はこれを基にケアしていきたい
- ・在宅での参考になりました
- ・当院で使用中

3 宮脇先生の講義内容に関する評価

1) 講義内容について

- ・次の ~ の項目について内容が“分かりやすかったか否か”の確認をしたところ、どの項目に関しても大半は分かり易かったとなっている。強いてあげれば「嚥下障害患者の動向」と「消化器トラブル」の項目で「分かり易かった」が減る分、「何となく分かった」の件数が多くなっている。
- ・看護関係の層とそれ以外の介護福祉関係の層で見ると、看護関係では「嚥下障害患者の動向」の項目が“やや分かり難い”人が他の項目より多く出ているが、また一方で介護福祉関係の層でも同様の傾向である。
- ・また介護福祉関係の層では「消化器トラブル」、「日常の手入れ」、「スキントラブル」の項目でも半数前後の人が“何となく分かった”に留まった。

問5: 胃ろう後期管理と交換・合併症対策 (N=40)

| | 1 分かり易かった (よく分かった) | 2 何となく分かった (分かった) | 3 どちらともいえない |
|------------------------------------|-----------------------|----------------------|-------------|
| 前回のおさらい(復習) | 3 0 (25:5) | 8 (5:3) | 2 (1:1) |
| 後期管理(準備、交換時期) | 3 4 (28:6) | 6 (3:3) | |
| 合併症について | 3 6 (30:6) | 4 (1:3) | |
| 日常の手入れ(カテーテル回転、外部ストッパーずらし、バルン水の確認) | 3 3 (28:5) | 6 (2:4) | 1 (1:0) |
| スキントラブル | 3 2 (27:5) | 7 (3:4) | 1 (1:0) |
| カテーテルトラブル(事故抜去) | 3 3 (27:6) | 7 (4:3) | |
| 栄養状態によるトラブル | 3 1 (26:5) | 8 (5:3) | 1 (0:1) |
| パンパー埋没症候群 | 3 4 (28:6) | 6 (3:3) | |
| 消化器トラブル | 2 9 (25:4) | 9 (4:5) | 2 (2:0) |
| 嚥下障害患者の動向 | 2 1 (18:3) | 1 4 (9:5) | 5 (4:1) |

()内、前数値はコメディカルの層、後数値は介護福祉関係の層

2) 講義内容(胃ろう後期管理と交換、合併症)との接触状況

- ・セミナーでの講義内容に関して、コメディカルなどの関係者が、現場でどの程度接点を持っているのか確認したところ、役半数は現場での対応、エンカウントしている。
- ・講義内容に関しては身近で、日々、必要とされる知識となっていることが類推されるが、その一端は右記に見られる。
- ・スキントラブルや自己抜去(自然抜去)、栄養剤の洩れによる皮膚ピランなどなどである。

問6: 胃ろう後期管理(交換、合併症)対策との接点

| | 1 ある | 2 ない |
|----------|------|------|
| 全 体 (40) | 19 | 21 |

↓

スキントラブル・・・5件
 自己抜去(自然抜去)・・・4件
 栄養剤のもれ、皮膚ピラン・・・5件
 埋没に気づかなくて外来に来た(入院患者、他の施設)
 PEG周囲のピラン(毎日洗浄し、RVGで処理)
 不良肉芽(のケア)
 パンパー埋没症候群

3) 講義の分かり易さ

- ・セミナー受講生はコメディカルな層だけでなく、ケアマネ、介護、福祉関係者も多いだけに、個別項目に関する分かり易さの一方で、内容的に具体的なイメージメイキング(理解)可能となっているのかなどの確認をした。
- ・全体的構成の上で“ビジュアル化”していることと“言葉(医学用語)の理解”に関する評価(努力)にはやや問題が残る。
- ・看護関係の層に関しては問題が無いものの、部外者となる介護福祉関係者の層ではビジュアル化で大半が問題なく理解できているようであるが、言葉(医学用語)に関しては7割近くが「分からないこともある」となっている。

問6:映像や言葉(医学用語の理解)に対する(理解)評価 (N=40)

| | | | |
|----------------|----------|------------------|---------|
| 映像を多く取り入れていること | 1 分かり易い | 2 (部外者でも)イメージできた | 3 分からない |
| | 33(5) | 7(4) | 1(-) |
| 言葉(医学用語)の理解では | 1 別に問題ない | 2 分からないこともある | 3 その他 |
| | 30(2) | 8(6) | 4(1) |

*()内数値は介護福祉関係者の(理解)評価の件数

4 “『多摩胃ろうネットワーク』の手引き(初版)”の評価

- * 前回(前編)のセミナー資料に標記の手引き資料を同封。今回(後編セミナー)出席者にその出来ばえを6項目に亘り確認した。
- ・元々、患者、家族向けの狙いで制作したものであるが、「見た」人も6割に留まっており、今後、色々に(配布し)使っていただきブラッシュアップしていくことになるが・・・。
- ・当初の制作上の狙いに関しては「使って頂けそうである」が22件、栄養剤の種類選別で「参考になる」+「用途(別)評価が良い」が24件など過半数を超える評価項目もある。
- ・参加者でも前回出席及び今回資料に同封した“手引き”であり、手に取り・見て頂いた状況であり、今後の使い込みや様々な機会での配布、あるいは配布時に解説するなど、今後の期待値(質疑応答集も盛り込んで欲しい)など大きいと思われる。

問7:『多摩胃ろうネットワーク』手引きの評価

| | | |
|-------------------------|---|-------------------------------------|
| みていただけたか | 1 見た25(21:4) | 2 (まだ)見ていない12(9:3) |
| 胃ろう患者、家族の手引き | 1 使って頂けそうですか22(18:4) | 2 難しいところがある2(1:1) |
| 多摩胃ろうネットワーク図(機能分担)..... | 1 分かり易い13(10:3) | 2 安心できる11(7:4) 3 使ってみないと分からない7(6:1) |
| 摂食・嚥下障害の紹介 | 1 分かり易い11(10:3) | 2 (今後)安心だ12(8:4) 3 もっと知りたい7(6:1) |
| 栄養剤の種類(多摩胃ろうネットワーク選)... | 1 参考になる20(17:3) | 2 用途評価が良い14(2:2) 3 分からない16(12:4) |
| 手引きに関して今後の要望(FA) | ・質問、疑問をのせて、それに対する回答ものせて欲しい ・医療関係者、特にPEGの管理を含めて知識が少ない場合や看護職以外は役に立つと思うが、素人の家族には一部難しいかもしれない | |

* 各選択肢の末尾にある数値はサンプル件数、()内数値は前が看護関係の層、後数値は介護福祉関係の層のそれぞれサンプル件数である。
* なお、全体サンプル数は40件であるが、前回出席者が始めて手にした“手引き”であり、今回のみ(後編のみ出席者)も講義中に手にして開いているなどしており、ここでは回答者中心に見たものである(無回答あるいは非該当などの調整はしていない)。

5 胃ろうセミナーに伴う医療機器、栄養剤の展示について

- ・カテーテルの確認に関しては、6割の人が見た、手に取った、話を聞いたのいずれかであったが、このうち介護福祉関係の人は4人(4割)に留まっている。
- ・栄養剤に関しては展示が会場の外であったが“見た、試飲した、話を聞いた”は延べ31人に達している。セミナー終了後、多くの方々がメーカーの方と話し、パンフレットの収集など接触してもいた。
- ・メーカーサイドの説明に関しては分かり易いとする人は僅かであり、どちらとも言えないが非常に多かった。

問8:胃ろうに伴う医療機器、栄養剤の展示 (N=40)

| | | | | |
|---------------------|---------------------|-------------------|-----------------------------|---------------------|
| 8 - 1胃ろうカテーテルの確認・・・ | 1 見た 18(15:3) | 2 手にとった 3(3:0) | 3 話を聞いた 3(2:1) | 4 見なかった 16(11:5) |
| 8 - 2栄養剤の展示(試飲)…… | 1 見た 22(16:6) | 2 試飲 3(2:1) | 3 話を聞いた 6(6:0) | 4 見なかった 13(10:3) |
| 8 - 3機器、栄養剤の説明…… | 1 分かり易かった 9(6:3) | 2 分かり難い 1(1:0) | 3 どちらともいえない(不明) 29(23:6) | |

6 今回(後編)セミナーに関する意見、感想、また、次回セミナーへの要望

- ・分かり易かった！参考になった！などが殆どであるが、その一方で「毎日の観察が如何に大切か分かりました」など自分の仕事と重ねて受止めていた(看護師の感想)。また、同じ看護師で立場が訪問看護師だけに「具体的な費用の説明もあり良かった」といった感想も寄せられている。
- ・さらに、立場が違ったところで「高齢者の増加に伴い在宅での胃ろうが増えることから」良い勉強になった(地域包括センターの方からの感想)ようである。
- ・また、栄養士の方からも「大変参考になった」の感想を頂いている。

問9:本日のセミナーに関してご意見・感想を！また、次回セミナーへの要望をお知らせ下さい

- ・映像を取り入れたので分かり易かった(看護師、20代)
- ・とても分かり易かったPT、Faへの指導に生かせると思います(看護師、年齢不明)
- ・毎日の観察が如何に大切か分かりました(看護師、30代)
- ・大変分かり易く参考になりました(看護師、20代)
- ・具体的な費用の説明もあり、良かった(訪問看護師、30代)
- ・高齢者の増加に伴い在宅での胃ろう管理が増えることから大変良い勉強になりました。有難う御座いました(地域包括センター、年齢不明)
- ・大変参考になりました(栄養士、20代)

5 胃ろうセミナーに伴う医療機器、栄養剤の展示について

・カテーテルの確認に関しては、6割の人が見た、手に取った、話を聞いたのいずれかであったが、このうち介護福祉関係の人は4人(4割)に留まっている。

・栄養剤に関しては展示が会場の外であったが“みた、試飲した、話を聞いた”は延べ31人に達している。セミナー終了後、多くの方々がメーカーの方と話し、パンフレットの収集など接触してもいた。

・メーカーサイドの説明に関しては分かり易いとする人は僅かであり、どちらとも言えないが非常に多かった。

問8: 胃ろうに伴う医療機器、栄養剤の展示

(N=40)

| | | | | |
|-------------------|-----------|---------|-----------------|-----------|
| 8 - 1 胃ろうカテーテルの確認 | 1 見た | 2 手に取った | 3 話を聞いた | 4 見なかった |
| | 18 (15:3) | 3 (3:) | 3 (2:1) | 16 (11:5) |
| 8 - 2 栄養剤の展示(試飲) | 1 見た | 2 試飲 | 3 話を聞いた | 4 見なかった |
| | 22 (16:6) | 3 (2:1) | 6 (6:) | 13 (10:3) |
| 8 - 3 機器、栄養剤の説明 | 1 分かり易かった | 2 分かり難い | 3 どちらともいえない(不明) | |
| | 9 (6:3) | 1 (1:) | 29 (23:6) | |

6 今回(後編)セミナーに関する意見、感想、また、次回のセミナーへの要望

・分かり易かった！参考になった！などが殆どであるが、その一方で「毎日の観察が如何に大切か分かりました」など自分の仕事と重ねて受け止めていた(看護師の感想)。また、同じ看護師で立場が訪問看護師だけに「具体的な費用の説明もあり良かった」といった感想も寄せられている。

・さらに、立場が違ったところで「高齢者の増加に伴い在宅での胃ろうが増えることから」良い勉強になった(地域包括センターの方からの感想)ようである。

・また、栄養士の方からも「大変参考になった」の感想を頂いている。

問9: 本日のセミナーに関してご意見・感想を！また、次回セミナーへの要望をお知らせ下さい

- ・映像を取り入れたので分かり易かった(看護師、20代)
- ・とても分かり易かったPT、Faへの指導に生かせると思います(看護師、年齢不明)
- ・毎日の観察が如何に大切か分かりました(看護師、30代)
- ・大変分かり易く参考になりました(看護師、20代)
- ・具体的な費用の説明もあり、良かった(訪問看護師、30代)
- ・高齢者の増加に伴い在宅での胃ろう管理が増えることから大変良い勉強になりました。有難う御座いました(地域包括センター、年齢不明)
- ・大変参考になりました(栄養士、20代)